



在日大韓基督教會
宣教 100 ~ 110 周年標語
감사의 백년, 소망의 백년
感謝の百年、希望の百年
(예살로니가전서 5:18)

2012年5月1日(火) 第707号

発行所 福音新聞社

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
電話 03-3202-5398
発行人 / 金 武士・編集人 / 洪性完
fukuinshinbun@kccj.jp (福音新聞)
info@kccj.jp (総会事務局)

在日総会神学校 第13回卒業式 入学式と同時に挙行



さる3月21日(水)、西新井教会の礼拝堂で、在日総会神学校の卒業式と新年度の入学式が同時におこなわれた。卒業生は、横浜教会所属の石橋真理恵神学生1名であるが、2年間の神学研鑽を一生懸命学び終えた。卒業論文は、『キリスト教世界観のための教会教育』である。今後、横浜教会で伝道師としての招聘が内定している。



石橋真理恵卒業生

金根湜牧師(ハンサラン教会)の司会で、約40名の地方会の教役者や信徒、また神学校関係者らが集い、恵みと希望にみちた卒業式と入学式を同時に挙行した。礼拝の祈りを担当した郭恩珠牧師も総会神学校出身者である。鄭然元牧師(大阪教会)のメッセージは、「救いの灯火となり」と題し、牧会者として何よりも人格者としての資質が問わされることを力強く語り、卒業生らを励ました。校長である李聖雨牧師も若い牧会者を今後も総会神学校で養成する必要性を訴えた。

新年度の入学生として、権寧勲伝道師(福岡教会協力伝道師)と金秀明神学生(姫路教会所属)の2名が与えられた。金秀明氏は在日出身であり、権伝道師は韓国から日本宣教ために幻をもって渡日してきた伝道師である。校長は、訓示や歓迎の言葉のなかでも、少数の学生であれ、総会が引き続き関心を注いで、次世代の教役者を育成していくことに総会の希望があることを強調された。

総会からの祝辞として洪性完総幹事が、また関東地方教会女性連合会を代表して、会長の金芳植長老が、また宣教協約を結んでいる日本キリスト教会の神学校校長である三好朗牧師がそれぞれ祝いの言葉を述べた。金芳植長老は、女性の牧会者に対する期待を語られ、また三好牧師は相互の神学校の交流の発展について、そのビジョンを語った。一人でも多くの献身者を各教会が育てるようにし、次世代の新しい牧会者を総会全体で今後も育てていきたい。



また、東日本大震災1周年のために来日している讃美チーム「ヘオルンヌリ」がすばらしい讃美をもって卒業生・新入生を祝った。最後に、今年度の教授陣として、校長(李聖雨)、教務(韓聖炫)、旧約(金性済、韓聖炫)、新約(洪性完)、組織神学(権寧国、千相鉉)、歴史神学(金根湜)、実践神学(鄭然元、李聖雨、朴寿吉)、KCCJ神学(李清一、金健)が紹介された。礼拝は慶惠重牧師(品川教会名誉牧師)の祝祷で恵みのうちに終え、西新井教会の女性会が準備してくれた感謝披露の食事をおいしくいただいた。

(報告: 韓聖炫教務)



<西部地方会>女性連合会 会長会議・1日研修会開催



西部地方教会女性連合会主催の「会長会議と1日研修会」が、去る2月16日（木）午前11時より、神戸教会に於いて、約23名が参加し開催された。開会礼拝は、崔美恵子副会長の司会に始まり、同教会の韓世一牧師の“常に主を信頼せよ”（箴言3:5～6）という題でのメッセージと祝祷があった。続いて会長会議に移り、李炫知会長の挨拶、各教会女性会会长による2012年度の活動報告がなされた。各女性会共通の食事奉仕や生け花の他に徹夜祈祷、月刊誌の発行、デイサービスでの食事奉仕、バザーといった独自の活動報告もなされた。書記から今後の西部女性連合会の活動についての説明後、昼食、写真撮影をもって会長会議を終えた。

午後からは、1日研修会に移り、川西教会の朴斗熙牧師が「母の祈り」という題目で講演した。朴牧師は、女性が愛する者に対して祈る祈りや姿を通して、“女性が祈る事の大切さ”を聖書の中の女性達を例に挙げて述べた。女性は全ての事を心から愛することの出来る情の深さがあり、産みの苦しみを通して心から愛する者の為に、自分を犠牲にして尽くすことを厭わない母の献身さを説かれた。

さらに、イエスの母マリアのイエスに対する愛情や、ハンナ、カナン、エステル等多くの女性達の祈りが渴望や苦しみ、切望から生まれた祈りであること、又、マリアとマルタの話から、祈りは神の御心を聞くことから始まる。イエスが切に神に祈られた様に、私達も愛する家族、教会、隣人、國の為に心の底からの切なる祈りが必要であり、1人の祈り、一緒の祈り、女性会の祈りの時間を持つことで、神は必ず私達の祈りを聞いてくださると説かれた。最後に心をひとつにし、全員で讃美の時間を持ち祈りの器として用いられる私達、又女性会であるよう祈り心満たされた。（報告：賀景淑書記）

在日同胞文化の創造と多文化共生社会を目指して2006年4月25日、創立100周年を迎えました。



- ◆ 東京で一番安く便利な宿泊研修施設（ホテル）：フロントは日・韓・英語を対応、24時間サービス。10名様から2020名様の会議及び宿泊研修（50名様）も可能。
- ◆ スペースワイホール：220席の多目的ホール。セミナー・コンサートなどに最適
- ◆ 韓国文化（チャング・カヤグム・舞踊）教室・韓国語講座・各種こどもクラス
- ◆ YMCA アジア語学院（日本語学校）※会員及び教職者割引有

在日本韩国 YMCA <http://www.ymcajapan.org/ayc/jp/>

東京韩国YMCAアジア青少年センター〒101-0064 東京都千代田区猿楽町2-5-5 TEL 03-3233-0611 FAX 03-3233-0633
関西韩国YMCAアジア青少年センター〒537-0025 大阪市東成区中道3-14-15 TEL 06-6981-0781 FAX 06-6981-0782

<関西地方会>女性連合会 第59回定期大会開催

2012年3月22日（木）大阪教会において、関西地方女性連合会第59回定期大会が13教会、代議員54名の出席で開催された。第1部開会礼拝では、金英子副会長の司会のもと、讃美歌48番を讃美し、司会者の祈祷後、金必順牧師より「女性会が立つ場所」（ヨハネ8:2～11）の題目で説教と聖餐式が執り行われた。

そして、一同が献金を捧げ、張淑子会計の感謝の祈祷後、頌栄5番を讃美し、金必順牧師の祝祷をもって開会礼拝を終えた。

第2部議事では、崔金順会長を議長とし、3分の2以上の出席を確認し、議長が開会宣言をした。新代議員と来賓を紹介し拍手をもって歓迎した後、2011年度決算報告が承認された。そして、昼食休憩時間を利用し、全国女性連合会「第13回女性のための聖書セミナー」（於・名古屋教会、2/7・8）の模様をDVD鑑賞した。



第3部案件討議では、2012年度活動方針、予算案審議がなされ承認された。さらに、第4部閉会礼拝では崔金順会長の司会のもと、讃美歌88番を讃美し、司会者の祈祷後、崔浅子伝道師（大阪教会）より、「新しい歌を主に向かって」（出エジプト15:20～21）の題目で説教と祈祷をした。

その後、讃美歌45番を讃美し、「派遣の祝福」を朗読し閉会礼拝後、崔金順会長が閉会宣言をした。関西地方会女性連合会の発展と成長を期待しながら、神様に感謝と栄光を捧げる有益な大会であった。（報告：姜定子）

(税込み)	平日	休・休前日
シングル	¥6,300	¥5,040
ツイン	¥11,550	¥9,240
トリプル	¥14,490	¥11,592
朝食	¥200	カルビクリッパー、コムタン、ユッケジャン、韓定食、洋食（全メニュー付き）

<西南地方会>女性連合会 第58回定期大会開催



4月14日(土)、第58回定期大会が福岡教会にて開催された。6教会から代議員22名(欠席2名)、傍聴者8名、牧師2名、全国連合会会长と総務、計34名が集った。金幸子会長の司会による開会礼拝では、権寧国牧師(福岡、女性部長)が、使徒言行録15章22-31節をもって、「最初の総会のように聖靈が共におられ、皆が喜ぶ大会。互いに励まし、褒め、まず神様が喜ばれることを考えよう」と説教した。

続いて会長が開会辞で、標語であった「糸一ぶどうの木につながる西南女性会」を種々の行事を通じ深めることができたことへの感謝と、「主から与えられているタラントを投資し、主の同労者として勇気を出して行動しよう」と述べた。そして全国教会女性連合会金貞姫会長が、被災地研修参加呼びかけと共に、「互いに痛みを分かち合おう」と祝辞をした。

会順に従い、前会録承認後、任員会、各部、各教会、会計報告がなされ承認した。記念撮影後、福岡教会がこの日の為採ってきたという山菜はじめ愛情こもった昼食を頂き、午後は新年度予算案を有意義に活用される事を願い承認した。各教会女性会が、老齢化、少數化、仕事や介護等を抱えつつも教会や女性会の活動を誠実に心こめてなそうとしている様子が報告され、主に感謝した。また、女性連合会に参加していない教会を覚えて祈り共に歩むことを確認した。

第2部は、全国女性会第13回セミナー(名古屋)映像鑑賞後、金必順総務から「憲章」改正の動機や内容についての説明を受け、活発な質疑応答がなされた。閉会礼拝では、金必順牧師が詩篇5:12-13をもって、「主イエスから愛と許しと恵みの光をいただいて輝き、人々と分かち合おう」と説き、第58回期も主が一人ひとりを支え導き喜びを持って主の業に励ませて下さることを切に祈り、午後4時に大会を終えた。(報告:崔聖実)

학습과 세례를 위한 준비교육 소책자 (学習・洗礼・入教教育 小冊子)

학습·세례·입교 교육의 모든 교육을 하실 때에는 이 준비교육 소책자를 이용하시면 매우 유익합니다.

- 한국어 일본어 겸용이네요!
- 현대어 표현으로 알기 쉬워요!
- 글씨가 크고, 내용도 충실히네요!
- 申請: 総会事務局 (03-3202-5398)



<関西聖書神学院>

2011年度 卒業式을 举行하다!

2011年度 関西聖書神学院 卒業式이 3月25日 午後3時、本校舎(大阪北部教会)에서 举行되었다。卒業礼拝は 神学院の 教務院 趙永哲牧師(大阪北部教会)の司会で開始され、理事院 崔春子牧師(高槻伝道所)の祈祷と 大阪北部教会 聖歌隊による特別讃揚、そして 総会長(神学院の 教授院 金武士牧師(西成教会))が「神学の入口に立つ日」(神学の入口に立つ日)とされるメッセージを伝達した。

その後、学院長 鄭然元牧師(大阪教会)より 卒業証書授与と 理事長 全聖三牧師(布施教会)より 祝辞が述べられ、鄭然元牧師の祝詞で卒業礼拝を終えた。



今年度에 卒業한 神学生은 本科 卒業生으로서 盧守基(大阪教会), 上島幸彦(大阪教会), 篠崎常幸(西宮教会), 尹美来(大阪教会) 등 4명이다. 関西聖書神学院은 1984년에 在日大韓基督教会에서 설립된 人材養成、教会奉仕를 위한 信徒教育과 訓練, 그리고 神学形成을 위해 関西地方会를 中心으로 設立된 以来 오늘에 이르고 있다.(報告:趙永哲牧師)

福音新聞原稿募集

- ・ 内容: 各報告、証し、説教、自由投稿 等
- ・ 対象: 在日大韓基督教会所属の全信徒
- ・ 言語: 韓・日語(得意な言語でお願いします。)
- ・ 写真: 1~3枚程度(添付ファイル)
- ・ 期間: 年中(締め切り:毎月20日)
- ・ 送信先: fukuinshinbun@kccj.jp
shinacho2003@daum.net

*文章は、word でお願いします。

福音新聞社 編集部

豊かな味はここまで豊かにする。



代表取締役 吳永錫
(東京希望キリスト教会長老)

四谷本店

東京都新宿区四谷3-10-25
Tel. 03-3354-0100
Fax. 03-3353-6200

<関東地方会>復活節聖歌祝祭 荒川市民会館에서 개최

지난 4월 8일(주일) 부활절 오후 3시부터 관동지방회에서는 상파르 아라카와에서 <2012년 부활절 성가축제>가 개최되었다. 지난해는 동일본 대지진으로 인하여 취소되었지만, 올해는 새로운 형태와 만남으로 예수 그리스도의 부활을 기뻐하며 찬양하였다.

지방회장 한성현 목사가 [그리스도의 향기](고후 2:14)로 개회예배 설교를 한 후에 실행위원장인 부회장 김건 목사의 개회선언과 김요셉, 서유진 신학생의 사회로 열띤 찬양이 펼쳐졌다. 총 17 팀이 참가한 2012년도 대회에서의 영예의 대상은 동경성산그리스도교회가 차지하였으며, 부상으로 액정텔레비전이 수여되었다.

부활절 성가축제에 대한 이모저모와 더불어 부활절 다음 주일인 4월 16일(월)에는 매년 부활절을 기점으로 실시하는 후지레엔에서 전도부 주최로 실시된 묘전예배 모습도 사진으로 소개한다. 부활을 믿고 천국을 소망하면서 행복하고 즐거운 일본에서의 삶이 되기를 기원한다.

(보고: 편집부, 사진제공: 관동지방회)



<西部地方会>第23回信徒修練会 「行って、弟子としなさい」



3月19日（月）～20日（火）、兵庫県洲本市にあるアトリゾート淡路にて、「第23回西部地方会信徒修養会」（伝道部・教育部共催）が開催された。参加者数は大人64名、子どもが6名であった。講師は、大韓イエス教総会（合同）総会長である李起祔牧師（全州北門教会）を招き、「行って、弟子としなさい」という主題のもと、3回の講演がなされた。

開会礼拝は、李聖雨牧師（武庫川教会）の司会で始まり、李起祔牧師がガラテヤ6:4から「聖徒が吟味すべきこと」という題で説教をした。その後すぐに夕食をとり、19時から梁栄友牧師（岡山教会）の司会によって1回目の講演が始まった。講演のタイトルは「忠誠の原理」で、黙示録2:10から、神に忠実な者として生きる聖徒たちの使命について語られた。

二日目の早天祈祷会は、金鍾權牧師（明石教会）の司会で始まり、ルカ5:1-11から「沖に漕ぎ出して」という題で李起祔牧師による説教がなされ、讃美と御言葉の中で二日目を始めることができた。その後、朝食を分かち合いながら、久しぶりに地方会の信徒同志がゆっくりと交わりの時間をもつた。

2回目の講演は、李重載牧師（西宮弟子教会）の司会によって始まり、マタイ15:21～28から「立派な信仰」という題で語られた。この講演ではカナンの女の信仰をイエスがどのように評価したのか、聖徒たちが目指すべき信仰はどこにあるのか、が語られた。その後しばらくの休憩時間を持ち、中江洋一牧師（広島教会）の司会のもと、3回目の講演と閉会礼拝がなされた。3回目の講演と閉会礼拝を兼ねたこの時間には、「肉における残りの生涯」という題のもと、第1ペトロ4:1～6から、神の御心に従う生き方について語られ、最後に辛鐘国名誉牧師（明石教会）の祝祷をもってすべてのプログラムが終了した。

瀬戸内海を望む豊かな自然に囲まれた環境の中、御言葉と讃美と祈りに溢れた2日間を過ごすことができ、靈肉共に満たされる信徒修養会となつた。

（報告：金聖泰）

<東日本大震災慈善コンサート> 「해오른누리 被災地と東京で公演」

지난3月9日（金曜日） 오후 1시부터 미토교회에서는 동일본 대지진 피해지역 회복과 치유를 위하여 한국에서 온 <해오른누리 자선콘서트> 가 있었다.

해오른누리는 각각 다른 빛깔의 보이스를 지닌 크리스챤 혼성 5인조 그룹으로 다양한 장르의 음악으로 복음을 전하고 있는 찬양팀이다. 어쿠스틱을 바탕으로 포크, 컨츄리, 포크락의 음악에 서정적, 복음적인 가사를 실어서 복음을 전하고 있다.

다양한 악기연주와 개성 넘치는 하모니, 누구라도 이해하기 쉽고 마음을 움직이는 가사, 그림같은 아름다운 멜로디가 성령님에 의해 하나가 되어있다는 느낌을 받는다. 또한 크리스챤 뿐 만이 아니라 남녀노소 누구라도 즐길 수 있는 음악을 추구하고 있다.

금번에는 재일총회신학 졸업식, 니시아라이교회, 동경교회에서도 콘서트를 열어, 많은 교인들에게 감동과 은혜를 주었다.



피재지 가설주택 급식봉사자 모집 被災地仮設住宅、炊き出しボランティア募集

- ・場所：福島県郡山市仮設住宅
- ・期間：2012年2月～2013年1月（月1回／計12回）
- ・参加資格：どなたでも（小中学生は保護者同伴）
- ・集合場所：水戸教会
- ・集合時間：前日の午後3時
- ・準備物：1泊用の準備、寝袋
- ・申し込み方法：氏名、性別、年齢、教会名、連絡先を明記し、「炊き出し参加希望」と書いて、email(baekki@mac.com)を。
- ・または、各教会の教役者に相談。

<今後、奉仕予定日>

6月16日(土曜日)、7月(未定)、8月25日(土曜日)、9月17日(月、敬老の日)、10月8日(土、体育の日)、11月23日(金、労働感謝の日)、12月9日(土曜日)、2013年1月14日(月、成人の日)

★上記の予定日は、事情により変更される場合もありますので、現地に関する問い合わせは、朴正根牧師(080-1817-2897、郡山伝道所)、炊き出しに関する問い合わせは、韓在文牧師(080-5050-8291、水戸教会)に連絡して下さい。

関東地方会社会部

<復活節説教> 金性済牧師(名古屋教会)

わたしを愛するか (ヨハネ福音書 21:15-17)

十字架の死からよみがえられた主は、ゲネサレ湖で漁をする弟子たちにご自身を現され、食事をされた後、ペトロに向かって「わたしを愛するか」と三度も尋ねられました。一度目も、二度目も同じように問いかけ、同じように「はい、主よ、わたしがあなたを愛していることは、あなたがご存知です」と答えるペトロに対し、「わたしの羊を世話しなさい」と命じられるのです。しかし、いよいよ、三度目も同じように主がペトロに問いかけると、ペトロは悲しくなって、「主よ、あなたは何もかもご存じです。わたしがあなたを愛していることを、あなたはよく知っておられます。」と答えました。

興味深いことに、イエスの一度目の問い合わせ、二度目の問い合わせも神の無私の愛を意味するアガペーの動詞形、アガパオーが用いられているのに、ペトロは二回とも「愛します」を、友愛・兄弟姉妹愛を意味するフィレオーが用いられているのです。ところが、三度目にイエスがペトロに「わたしを愛するか」と問いかけるときには、驚くべきことに、フィレオーが用いられているのです。

しかし、本来イエスとペトロはがギリシャ語ではなく、アラム語で対話したのですが、二人が愛についてどのアラム語を用いたかは謎なのです。しかし、ヨハネ福音書はイエスとペトロの「愛する」を、ギリシャ語でそれぞれアガパオーとフィレオーとに使い分けることによって、わたしたちに何か大切なことを伝えようとしています。すなわち、イエスは神の無私の愛をペトロに求めたが、ペトロはその愛を生きられなかつた自分の現実から友愛・兄弟愛を意味するフィレオーでしか応答できなかつた。ところが、3回目にはイエスがそのフィレオーをもってペトロの愛を確かめようとされると、ペトロは悲しみに囚われてしまった。

そのペトロの悲しみには二つの意味が秘められていたのでしょうか。ひとつは、3日前にイエスが捕えられた時、ペトロは自分が3度、イエスを知らないと否認したことを想起せずにおれなかつたから。今ひとつは、イエスが、アガペーが無理なら、フィレオーでなら愛せるか、という主の問い合わせに、ペトロはそれでさえ自分が破綻してしまったことに気づいていたのではないか。しかし、復活された主の問い合わせには、主に信従する信仰に挫折した傷を過去に背負い、打ちひしがれるペトロに「あなたはもう赦された。だから、今からはわたしの羊を養いなさい」という赦しの中から新しく生まれ変わる道を指し示す福音が輝いているのではないかでしょうか。

ペトロの3度に及ぶ主の否認の話は、すべての福音書に残されています。きっと、初代教会の宣教においてペトロはその恥ずかしい自分の歴史を、あれは仕方なかったこととして隠したりせずに語り続けたからでしょう。

ペトロはその歴史を語り続け、語り継ぐことによって、十字架の恵みと、主の復活が自分に及ぼした力がいかに大きいものであったかを宣べ伝えようとしたのです。罪深く軟弱な自分に注がれた主の十字架の贖いの恩寵体験なしに主の復活の喜びも力も、ペトロには考えられなかつたと言えます。

わたしは確信します、1945年12月、在日朝鮮基督教連合会の教役者・信徒は、あのペトロのようにこの主の御声に励まされ、戦後、挫折の中からよみがえるごとく再出発して行つたのである。1940年1月16日、天皇制支配下に各宗教団体を隸属的に統制する宗教団体法の下ではたとえそうするほかないほどの事情があったにせよ、(在日)朝鮮基督教教会は開催した臨時総会において自らの決議として、旧日本基督教教会に合同し、翌年6月、天皇制に隸属させられる日本基督教団に統合される道を選択して行つたのです。その道を拒否していたのなら、教団として大変な弾圧が待ち構えていたことは歴然としていたでしょう。軍国主義日本の圧倒的な脅威の中での臨時総会の決議は苦渋の選択であったとはいえ、在日朝鮮基督教教会が天皇制に自ら屈服した消し難い歴史、つまりペトロの主の否認の歴史として忘れてはならないのです。

しかしながらこそまた、在日朝鮮基督教教会の戦後の再出発の中に、「あなたたちは赦された、さあ、祖国と故郷に帰る道を絶たれてしまったわたしの羊を養いなさい」と命じられる主の御声を聞いたのだと思います。ペトロが主の復活後と教会の時代にも自分の三度の主の否認を語り続けたように、わたしたちもどのような歴史的過ちを主に赦されたのかを忘れず、その意味を問い合わせなければなりません。

在日大韓基督教教会がこれからも「在日」という、日本と韓国・朝鮮のはざまの歴史と現実の中で宣教課題として担われる一人ひとりの魂の癒しと救いも、人権を脅かされるすべてのザイニチとの共同の人権の確立のための闘いも、また朝鮮半島の平和統一への祈りと取り組みも、この十字架と復活の信仰告白から導かれることがあります。教会の罪の悔い改めと主の十字架の赦しの歴史、そして取り残された人々に寄り添い導いてくださる主の復活の信仰に立って、在日大韓基督教教会は100周年を迎えることができたのであり、そして今、宣教の第二世紀に遭わされているのです。その信仰告白を、日本に残された者とその子孫も、新たに本国や中国から導き入れられた者も、また日本人兄弟姉妹も忘却してはならないはずです。そのように在日大韓基督教教会の信仰告白の中に記された「罪の縛目から解かれて」という一節の主体的な意味をしっかりと分かち合い、継承しようとするなら、どんな困難や理由をもってしても、どの個教会も在日大韓基督教教会の絆から切り離されるはずがないのです。

<訂正とお詫び>

4月号1面から2面(1)までの金性済牧師の「復活節説教」に大きな編集ミスがありましたので、全面を訂正して掲載します。心よりお詫びいたします。編集人：洪性完總幹事

創世記連続講解（11）

尹宗銀 牧師
(横浜教会名誉牧師)



創世記 20 章

創世記 20 章の総主題は、『アブラハムがゲラルに滞在する』である。本章は、アブラハムの生涯の中で三回目の失敗の記事である。人間の弱点をそのまま暴露した。同じ内容でエジプトの事件を反復している。神より人を恐れる不信仰から、自分の妻を自分の妹と偽ることになった。そして不信仰者に対して顔を上げられない恥かしい状況に出くわした。

サラは、父テラの先妻の娘なので腹違いの妹である(20:12)。その関係上全然偽りではない。しかし、妻という事実を隠す目的から言われたので弁明は、一つの口実に過ぎない。もっともらしい嘘を言って人をだますほど卑劣なことはない。罪人は、口実をこしらえて義人になろうとするが、神は人間の中心を知っておられる。

信仰の祖先アブラハムも信仰の中にいる時は偉大な人であったが、信仰から離れれば普通の人のように卑怯であった。318人の小数の軍隊をもって大軍の敵を打ち破った勇気はどこにも見えない。要は信仰である。これは、わたしたち信者には大きな戒めの鑑となった。

アビメレクは羊、牛、男女の奴隸などをとてアブラハムに与え、また、妻サラを返して言った。「この辺りはすべてわたしの領土です。好きな所にお住まいください。わたしは、銀 1000 シェケルをあなたの兄上に贈りました。それは、あなたとの間のすべての出来事の疑惑を晴らす証拠です。これであなたの名譽は取り戻されるでしょう」。

アブラハムが信仰から脱線した結果、不信の異邦人から堪えられない恥を受けた。しかし神は、失敗を失敗として帰せないで、むしろ彼（アブラハム）を預言者、或いは祭司として召して異邦人たちの前で持ち上げられ、恵みの機関として使用されたのは、アブラハムに対する神の特別な恵みであった。

創世記 21 章

創世記 21 章の総主題は、『イサクの誕生とイシュマエルの追い出し』である。本章は、アブラハムの家庭の喜悲劇に関する記事である。神は、真実なので約束した通り(15:4)のことを実現される。サラが妊娠したのは、生理的には不可能なことであった。しかし、時が満ちて約束の子イサクが生まれた。枯れ木に花が咲いたのである。超自然の神の力である。人間の不能を神は可能にする。

神の約束は、必ず実現される。サラの夫妻は喜んだ。しかしこれによって家庭の不和は始まったのである。サラの笑いがある反面イシュマエルの嘲笑があった。一つの勢力から二つの勢力に分かれた。これによって、アブラハムの苦しみは大きくなつた。

もし彼が十数年前に肉的な欲望に従つて不信仰に行動をとらなかつたならば、今日の苦しみはなかつたであろう。12年前の罪が今まで苦しみを与えていたということは罪の価はどれほど酷いかを証明している。しかし、神は問題を解決なさる。たとえ、人間の失敗があつたとしても謙遜に神の導きに従わなければならない。アブラハムは、神の命令に従つてハガルとイシュマエル母子を家から追い出すことによつて、服従をあらわした。一方、ハガル母子に対する神の同情と保護に対するアブラハムの嘆きと祈りが、神に聞き入れられた。約束と慰めと目を開けて、水のある井戸を見つけるようにした。ゲラルの王アビメレクが自ら進んで和解を求めたのは、アブラハムが神を信じていることと神が彼の背後におられることを知つたからである。神が共におられる所には、平和と安息がある。アブラハムは、どこへ行っても神が共におられるという信仰は変わることがなかつた。

創世記 22 章

創世記 22 章の総主題は、『アブラハムの信仰の試し』である。本章は、アブラハムが信仰の試練を受けた事実の記録である。21 章において、ハガルとイシュマエルのことで苦しみを体験した、アブラハムの家庭に前無後無の一大試練があつた。即ち、独り子イサクを燔祭〔burning sacrifices〕として献げるよう命じられた。人を殺して祭壇に献げるのは、異邦人の風俗である。この残酷な命令が、神から言われるとは夢にも見られない、以外なことであった。

しかし、結果としては人身献祭の異邦人の行う風俗に従うのではなく、否定されたのであった。いずれにせよ、この命令は人間アブラハムにとっては一大の信仰を左右する試練になったことはもちろんあり、これによって空の星ように、海辺の砂のように子孫を祝福するという約束に比べて、到底理解しがたき難しい命令であったと言える。

彼は、一言半句の不平もなく感情を克服して、神第一主義の信仰の立場で服従した。彼は、神の約束された息子が死者の中から復活すると信じた。無から有を呼び出した神は、死から生きるようにすることも信じた。神が要求するものはイサクの命ではなく、アブラハムの信仰であった。

アブラハムは、信仰によってイサクを献げ、復活した者として神から受けられた（ヘブ 11:19）。これにおいて、献身に対して行いから離れることなく、敬虔な生活は行為を無視することはできないことを学ぶのである（ヤコブ 2:21）。刃物を研ぎ澄ましている時に、神はイサクの代わりに、献げる羊を示されたので、それをイサクの代わりに祭壇にささげた。これによって、アブラハムは万民の父として祝福される資格を備えた。アブラハムが息子に刃物を振り上げる所まで至つたのは、一言で言えば、信仰と服従と愛と神第一主義以外の何者でもない事を証明した。それは神が万人の生贊であるイエス・キリストをカルバリ山上の十字架祭壇の上で釘つけた御心そのものである。イサクはアブラハムの独子であり、イエスは神の独子である所に共通点がある。

<宣教師・総会神学生研修会>

今年度は関西地方会에서 開催

2012年度 宣教師・総会神学生研修会が 総会神学校 主催で 3月12日(月)から 16日(金)まで 関西地方会で 開催された。 올해도 集中講義와 現場訪問을 통하여 日本社会에서 살아가는 在日同胞, 그리고 이웃에게 福音を 전할 在日大韓基督教会의 使命을 再確認하는 重要な 研修会였다.



大阪教会에서 登録을 한 후에, 午後 3時부터 李聖雨牧師(武庫川教会)의 説教로 開会礼拝를 마쳤다. 이어서 洪性完牧師(総幹事)가 「総会의 組織現況에 대해서」, 金武士牧師(総会長, 大阪西成教会)가 「日本社会에 있어서의 宣教課題」, 李清一牧師(KCC館長)가 「KCCJ歴史와 宣教理念・政策」을 集中講義하였다.

그리고 大阪教会에서 運営하는 老人大学에 参加하여 韓聖炫牧師가 講義를 전한 후에 有益한 交際의 時間을 가졌다. 大部分의 老人們은 教會를 다니지 않음에도 불구하고 즐겁게 노래부르면서 英語 教室과 한글 教室 等 여러 가지 余暇活動에 參与하게 함으로 福音의 씨앗이 뿌려지고 있는 伝道活動이었음을 배울 수 있었다.

13日(火)에는 鄭然元牧師(大阪教会)가 「総会憲法에 대해서」 마지막 集中講義를 한 후, 大阪北部教会로 移動하여 関西地方会 여러 教役者들과 食事を 하면서 日本宣教와 総会와 地方会에 관한 交際와 懇談会를 가졌다.

3.11 東日本大震災 KCCJ募金口座案内

- ・銀行(BANK) : 三菱UFJ銀行
(THE BANK OF TOKYO-MITSUBISHI UFJ, Ltd)
 - ・支店(BRANCH) : 高田馬場支店 (TAKADANO-BABA)
 - ・種類(SWIFT) : 普通預金 (BOTKJPJT)
 - ・口座(A/C) : 053-1615275
 - ・名義: 在日大韓基督教会総会
(THE KOREAN CHRISTIAN CHURCH IN JAPAN)
- ※常時、募金しておりますので、上記に送金して下さい。

14日(水)에는 KCC会館 안에 있는 全国教会女性連合会事務所를 訪問하여 活動紹介를 듣고, 食事を 하면서 交際하였다. 이어서 一行은 京都南部教会와 京都教会를 訪問하였다. 이날은 水曜일이었던 関係로 神学生들은 京都教会의 水曜祈祷会에 参席하였으며, 大阪西成教会에서는 李元重牧師, 京都教会에서는 金容昭牧師, 大阪北部教会에서는 李在益牧師, 大阪教会에서는 韓聖炫牧師가 각각 説教奉仕를 하였다.

翌日 15日(木)에는 布施教会, 大阪西成教会, 浪速教会, 枚岡教会를 訪問하였으나, 平野教会, 奈良教会는 教会事情으로 인하여 訪問하지 못하는 아쉬움을 남겼다. 16日(金)에는 金成元長老(KCC主任幹事)가 KCC의 活動에 대해서 講義를 한 후, 朴龍洙牧師(京都教会)의 閉会礼拝 説教로 4泊5日間의 研修会를 하나님의 恩恵 가운데 무사히 마쳤다.

이번 研修会는 関西地方会와 各教会의 特色, 특히 在日同胞가 많은 社會에서 宣教의 使命을 가지고 伝道에 임하는 牧會者와 教會를 통하여 在日大韓基督教会의 希望을 볼 수 있었던 좋은 機会가 되었다.

또한 研修会를 主催한 総会神学校와 物心両面으로 아낌없는 支援을 한 関西地方会와 各教会・教會員에 感謝하며, 처음부터 마지막까지 安全과 恩恵의 時間이 될 수 있도록 이끌어 주신 하나님에게 더욱 큰 感謝와 栄光을 돌린다.

(報告: 김요셉神学生)



2012年 全国教役者・長老研修会

- ・日時: 7月16日(月)～18日(水)
- ・場所: 長崎県平戸 (日本の聖地巡礼3)
- ・主題: キリストの歴史を学ぼう!

「キリストの歴史を学ぼう!」

現場見学中心の研修会ですので、申請期限日を守って、ぜひご参加下さい。

현장 중심의 <일본 성지순례 연수회 3탄>입니다. 교역자님들과 장로님들의 많은 참석을 바랍니다.

在日大韓基督教会教育委員会